資料 5-1

救難飛行艇US-2の民間転用について

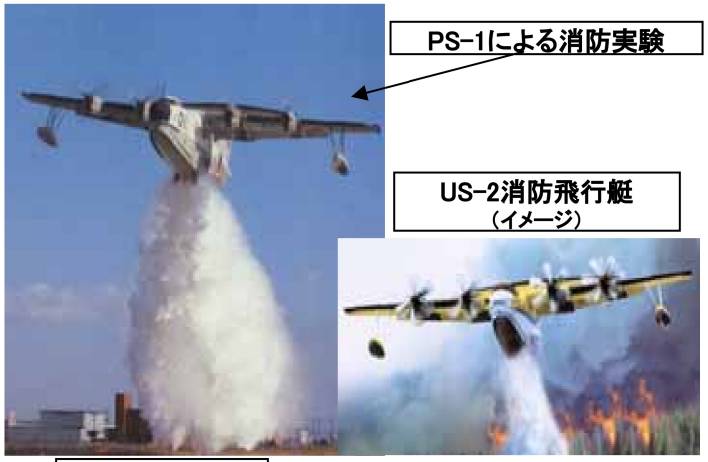
平成22年4月23日

新明和工業株式会社

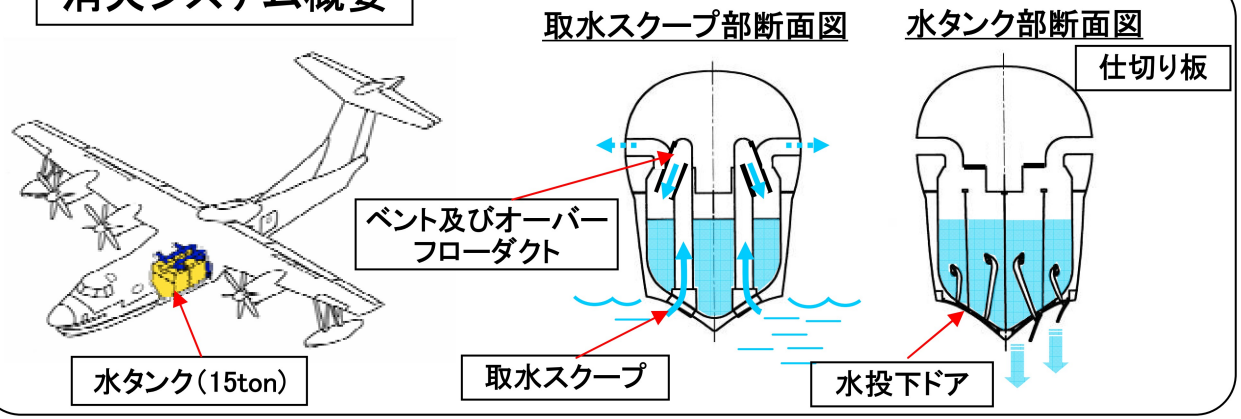
ShinMaywa

3. US-2の民間転用について ／（2）② 消防飛行艇

US-2消防飛行艇は、水上を滑走しながら15トンの消防用水を取水できます。これにより、林野火災や大規模都市火災における迅速な初期消火や延焼防止、避難民の安全確保等の消防活動が行えます。地球温暖化の影響により、地中海沿岸諸国や米国、豪州など世界各地で林野火災が増加しており、US-2消防飛行艇の活用が期待されます。

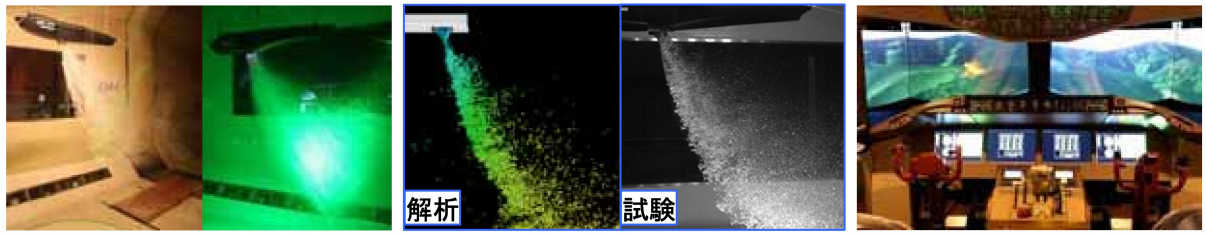


消火システム概要



消火技術

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）及び財団法人 日本航空機開発協会（JADC）と消火技術に関する共同研究を実施しています。
（H20年度～）



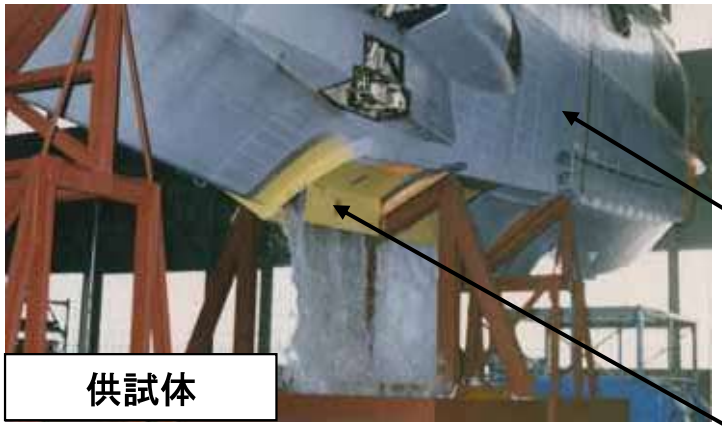
風洞放水試験　CFD解析　シミュレータ試験

（写真提供：（独）宇宙航空研究開発機構）

6. 参考資料 / 実大供試体による地上放水試験概要

消防飛行艇 放水システムの社内研究として、地上試験用放水タンク・システムを開発し、地上放水試験を実施しました。

- ○ 実施期間 ： S62年 ～ 63年
- ○ 実施担当 ： 新明和工業(株)社内研究
- ○ 実施場所 ： 新明和工業(株) 甲南工場
- ○ 試験概要 ： 地上放水試験(放水量15トン)



供試体

放水タンク・システム

放水タンク下部